

【数学科の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

数学科では、学位授与水準に定めた能力を持つ人材を育成するために、以下のようなカリキュラムを編成し実行します。

・ 1年次

総合教育部において、本学が定める全学教育のカリキュラム・ポリシーのもとで、「全学教育科目」の履修を要請します。

・ 2～4年次

現代数学を学ぶ上で必要性の高い内容を扱う基礎的な講義科目および演習・講究科目を「選択必修科目B」として設定します。比較的専門性の高い科目は、「選択科目」として配置します。主な履修対象学年を示し、順に履修していただけるような体系的科目編成にします。これらの講義科目と演習・講究科目を通して、学生は現代数学の基礎概念を学び、定理や公式を適用する能力を養います。学生が自身でテーマを選び、学習した内容を発表する講読科目は選択科目に属し、2、3年次学生を対象に開講されます。この科目を通して、学生は数学的な考察力、自ら学ぶ積極性、コミュニケーション能力、等を養います。

科学の一般基礎教養に関しては、「選択必修科目A」として理学の諸分野にわたる科目を開講します。多様な知識の重要性を理解し、幅広い知識を身に付けるために、複数分野にわたり履修し単位を取得することを要請します。

・ 4年次

4年次学生を対象として、卒業研究（通年）を必修科目として設定します。卒業研究を通して、学位授与水準に定めた能力の向上を図ります。